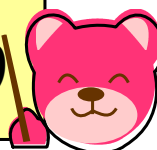


1・2年生



き ほ んてき がくしゅう しゅうかん み

基本的な学習の習慣を身につけましょう



（保護者の皆様へ）

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着に欠かせません。

この時期の児童は、家族の助けを借りながら、学校での学習を受け、学習内容や方法を決め、できたことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができる時期です。

1日の各時間のめやす

①学習時間は

30分以上

（学習塾での学習時間も含む）

②テレビ視聴やゲームの時間は合わせて

120分以内

学習の特徴は・・・

- 45分を1時間とした授業の中で「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には繰り返し練習することで力が付く学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整とんをする」など自分ですが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

家庭でのはたらきかけは・・・

- 学習を始める前にテレビなどを消し、勉強をする場の整理整とんをさせてください。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめてください。
- 学習時間を決めて、家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
- 毎日宿題を最後までしたかどうか確かめてください。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだり、手伝いをさせたり、生活経験の中から様々なことを学ばせてください。（親子のふれあいが最も大切な時期です。）
- テレビを見る時間やゲームをする時間を決める（めやすとして合わせて120分以内、ただしゲームは一日30分以内など）、食事中はテレビをつけないようにする、テレビを見ながら勉強すること（ながら学習）はさせない、などメディアの利用と学習のバランスを考えて、ご家庭に合ったきまりをつくっていきましょう。
- 携帯電話、スマートフォンを持たせる場合は、使い方を家庭で話し合い、ルール（フィルタリング、使用時間等）を守って使わせてください。

(1・2年生のみなさんへ)



しゅくだいなど おうちでの べんきょうのしかた

こくご



おんどく
(音読)

- ・ たのしみながら ^{おお}大きな声で はっきりと ^{こえ}よめるように しましょう。
- ・ てんやまると ^き気をつけて すらすらよめるように れんしゅうしましょう。
- ・ おうちのひとと いっしょに まいにち つづけて れんしゅうしましょう。

かんじ
(漢字)

- ・ ^か書きじゅんや ^きもじのかたち ^か気をつけて ^か書きましょう。
- ・ ^{ただ}正しいしせいで ^かていねいに ^かゆっくり ^か書きましょう。

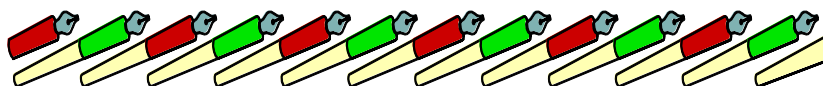
か はな
(書く・話す)

- ・ ^{がっこう}学校での ^かできごとを ^かおうちのひとへ ^かわかるように ^かはなしましょう。
- ・ ^{たの}楽しかったことや ^{たの}うれしかったことを ^{じぶん}自分のことばで ^え絵につきや ^かにつきに ^か書いてみましょう。

どくしょ
(読書)

- ・ ^{ほん}いろいろな本を ^{ほん}よみましょう。としよしつにいくと ^{ほん}おおくの本に ^{ほん}であえますね。

さんすう



- ・ ^{けいさん}計算が ^{ただ}正しくできるようになるために ^{けいさん}計算のしかたを ^{ただ}正しく ^{ただ}みにつけましょう。
- ・ ^{ただ}正しく計算できるようになったら ^{ただ}だんだん ^{ただ}はやくできるように れんしゅうしましょう。
- ・ まちがったもんたいは ^いかならずみなおし ^{いち}もう一ど ^いやりなおすことが ^いたいせつです。

そのほか

(おうちの方へ)

- ・ 学校で学習したことは、親子で確かめてください。
- ・ 学校で体験したことを、家庭でも取り組ませてみてください。
- ・ 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置いたり、読み聞かせをしたりすることで、本に親しみをもたせてください。
- ・ 音読を聞いてやり、感想やアドバイスをしてください。
- ・ 計算カードで正しく速く答えが出せるように、聞いてあげてください。
- ・ 動植物を育てたり観察させたりすることも、生命尊重や勤労意欲、責任感を育てることにつながります。
- ・ ふでばこの中 (えんぴつ ^{ほん}5本 ^{ほん}けしごむ 1こ ^{あか}赤えんぴつ ^{ほん}1本 ^{なまえ}名前ペン ^{ほん}じょうぎ 15cm)を入れてください。